

## 孫喜斌 (Sun Xibin)



中国聴覚障害児リハビリ  
研究センター 教授

主任医師、中国聴覚障害児リハビリ研究センター教授、博士課程指導教官。主な研究テーマは、聴覚障害児リハビリ聴力学、聴覚障害の等級基準及び聴覚リハビリ評価基準の制定。

華東師範大学言語聴覚科学研究院院長、兼任教授。中国衛生計画出産委員会新生児疾病検査専門家団メンバー、中国優生優育協会「子どもの脳力開発専門委員会」主任委員、NPO ヒアリングインターナショナル常務理事、中国聴力言語リハビリ科学雑誌編集長、WHO 聴力障害の予防とリハビリ連携センター業務顧問、中国障害者リハビリ協会聴力言語リハビリ専門委員会常務副主任委員。

近年の主な著書に、『聴覚機能の評価基準と方法』、『中国の障害予防対策の研究』、『中国の障害児の現状分析及び対策研究』、『聴覚障害児のリハビリ聴力学』、『内耳病』などがある。

## 聴覚障害児への早期介入と脳力開発

### ◇ 聴覚障害児への早期介入のための技術と聴覚リハビリの発展の現状

#### 1. 早期介入の理念：

3ヶ月で診断し、6ヶ月で介入し、定期的に評価・指導する。

#### 2. 早期検査と診断技術：

(1) 耳音響放射線検査 (OAE)、ティンパノメトリー、聴性脳幹反応検査 (ABR)、聴性定常状態誘発反応検査 (ASSR)

(2) 聴力反応検査、語音聴力検査、聴覚障害遺伝子検査、画像検査

#### 3. 現代のリハビリ技術

聴覚リハビリ：補聴器、人工内耳、補聴システム

聴覚言語学習：家庭でのリハビリ指導：専門機関でのリハビリ：集団や、マンツーマン、1対2での教育活動

### ◇ 脳力開発

1. 聴力管理を実施し、聴力補完や聴力の再構築の効果を重視し、聴覚能力を高める。
2. 両耳効果により、言語識別能力を高める。
3. 様々な活動や遊びを通して楽しく学び、幼児の脳に良い刺激を与え、潜在能力を引き出す。